

退 院 患 者 統 計

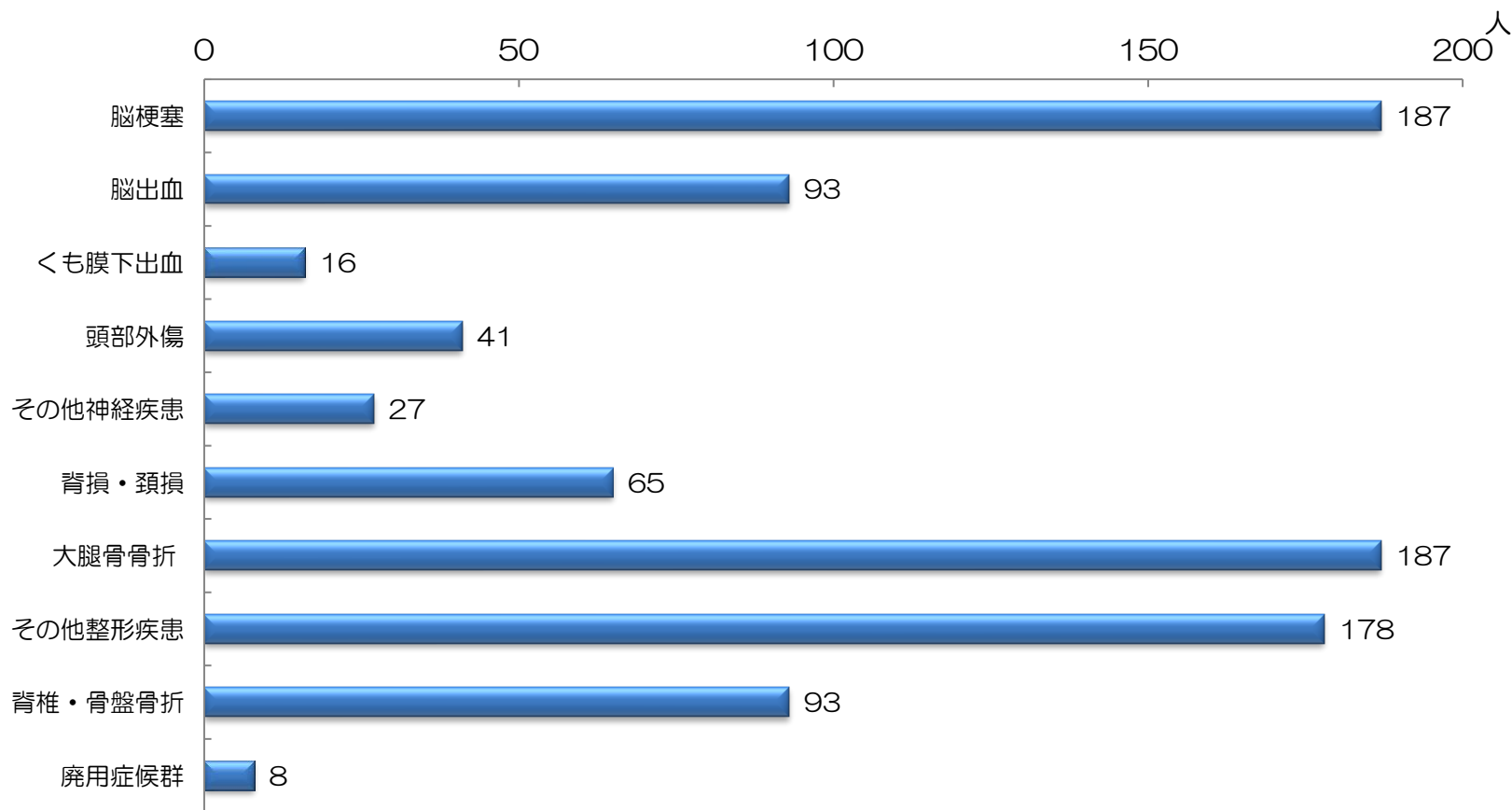
2024年度

医療法人財団 尚温会 伊予病院

I. 回復期リハビリテーション病棟 入退院状況

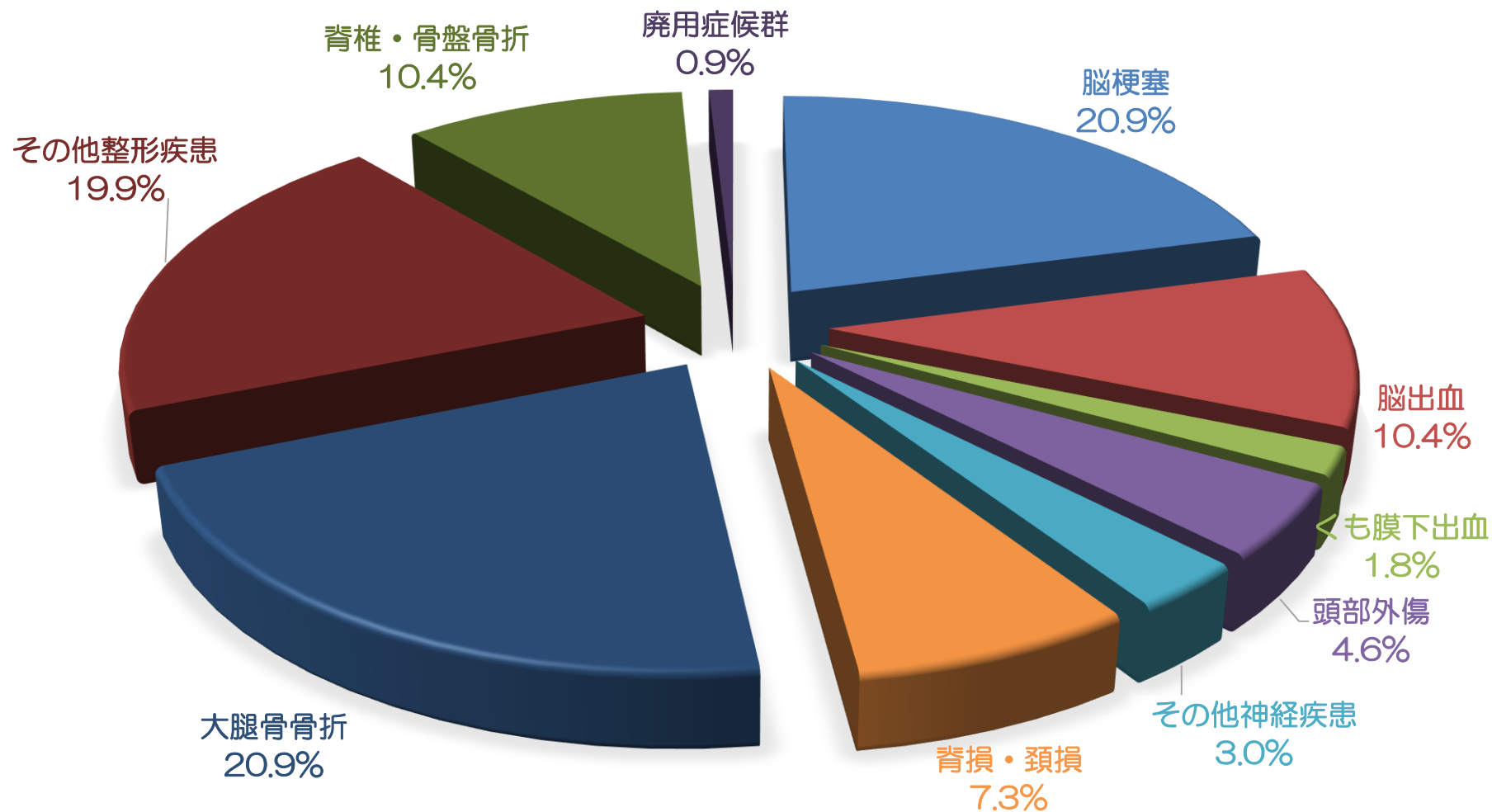
1. 疾患別患者数

疾患別患者数 (N=895)



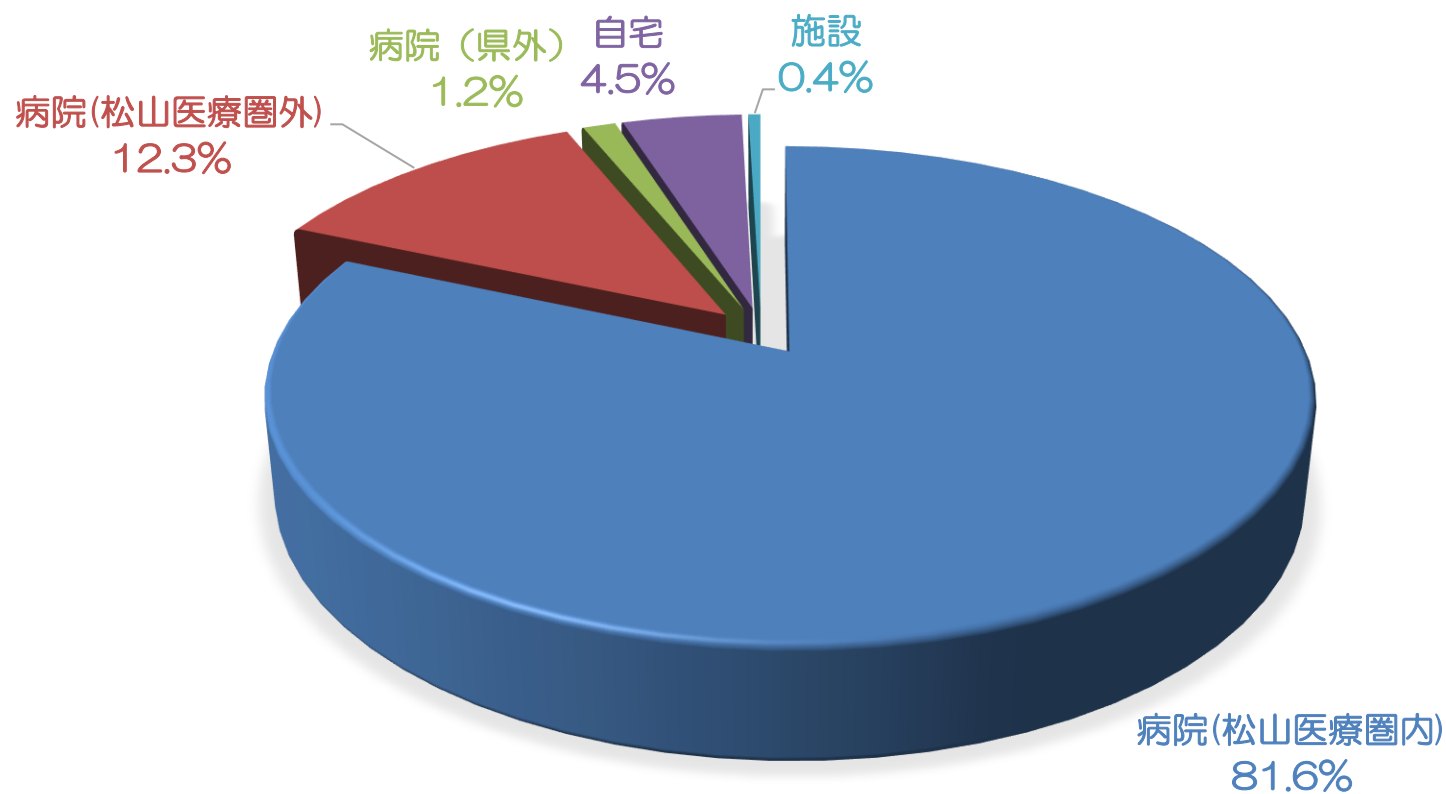
2.疾患別患者割合

疾患別患者割合 (N=895)

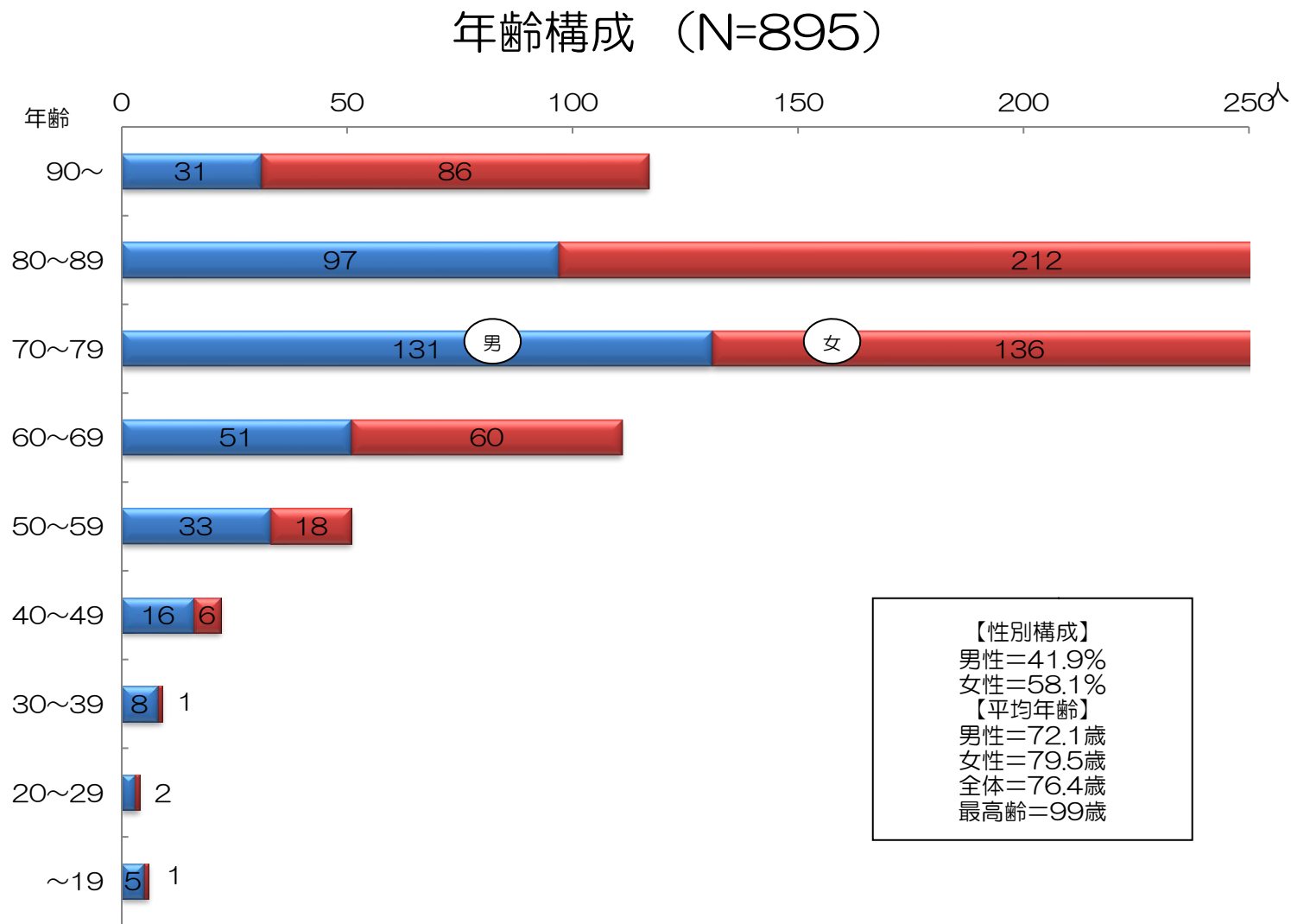


3.入院前状況内訳

入院前状況内訳 (N=895)

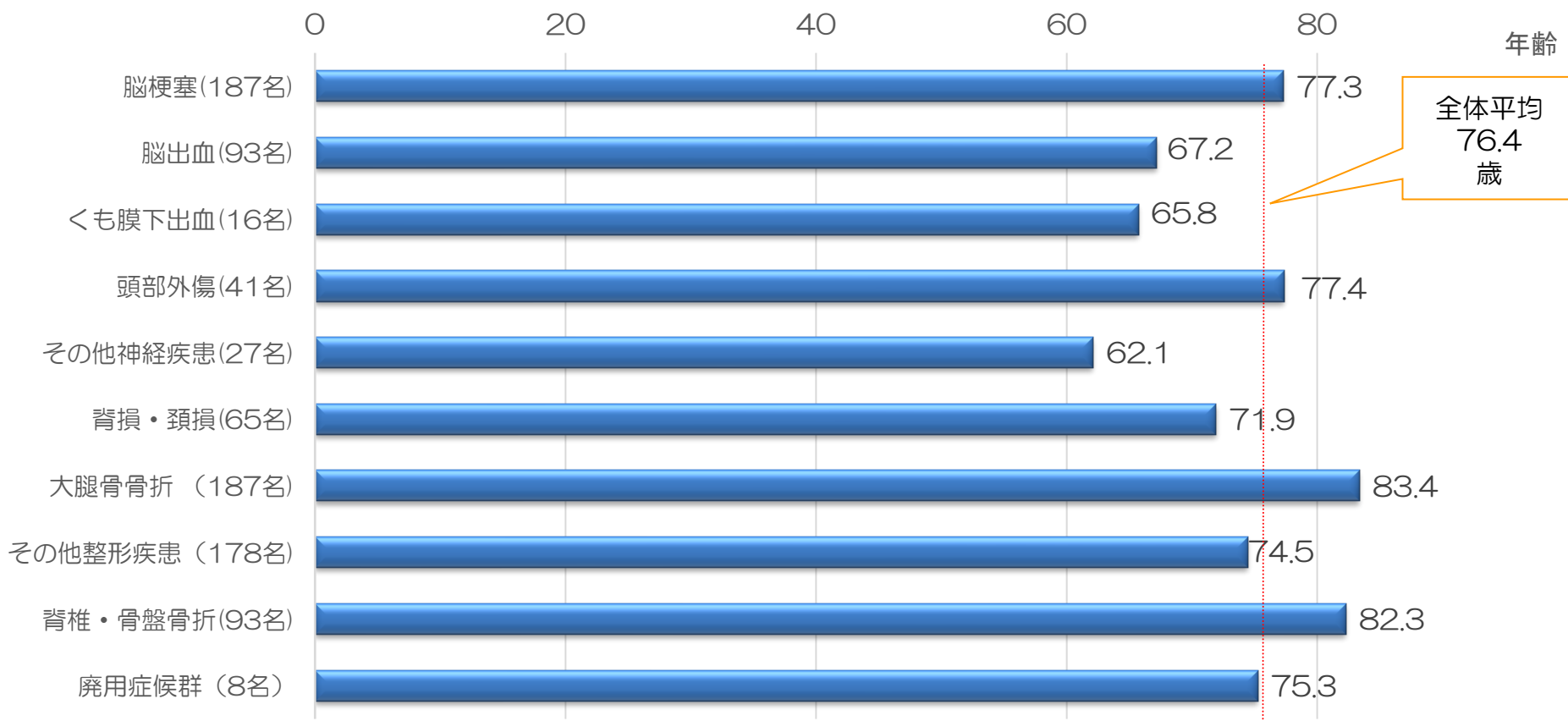


4.年齢構成



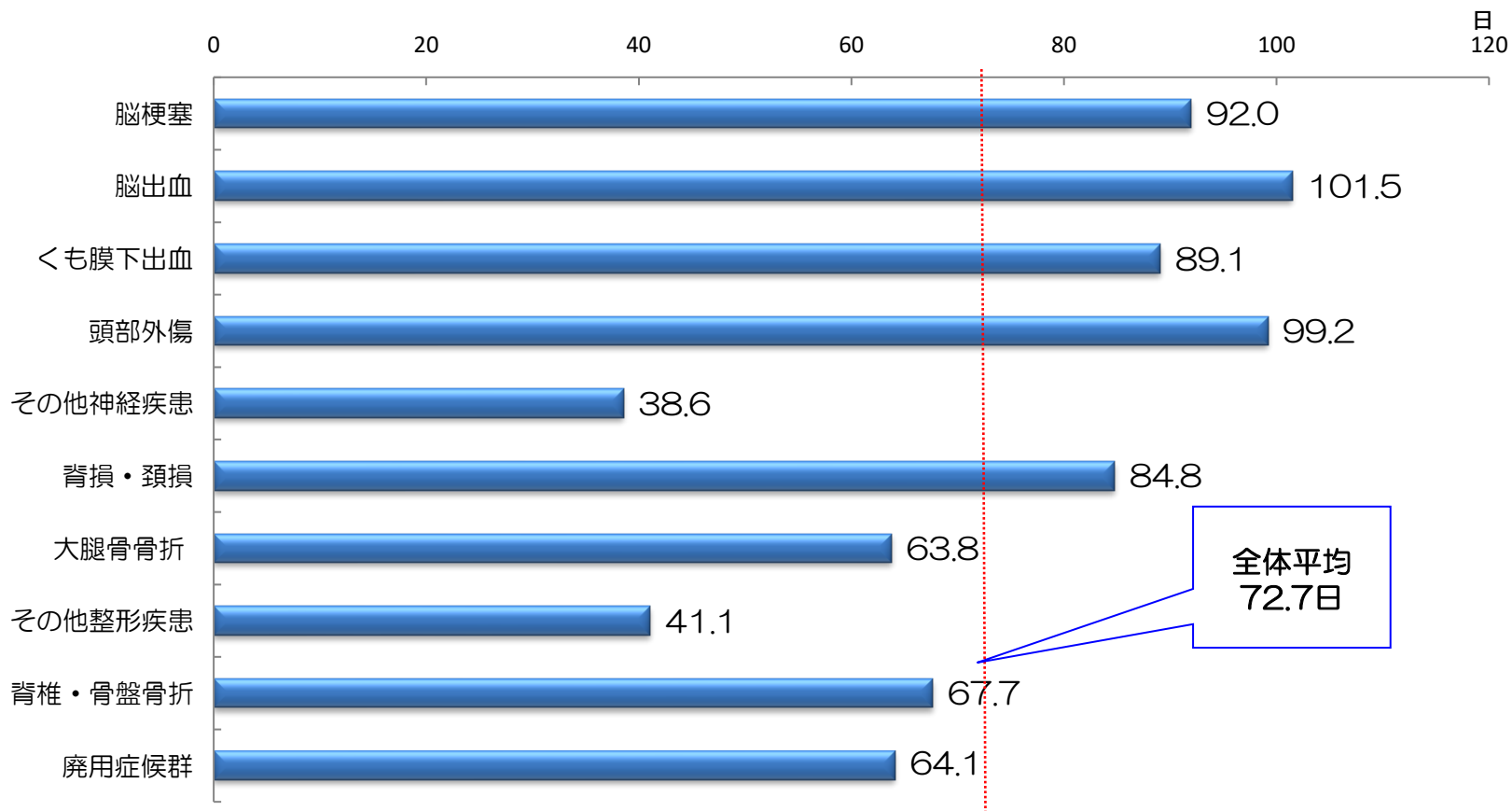
5.疾患別平均年齢

疾患別平均年齢 (N=895)



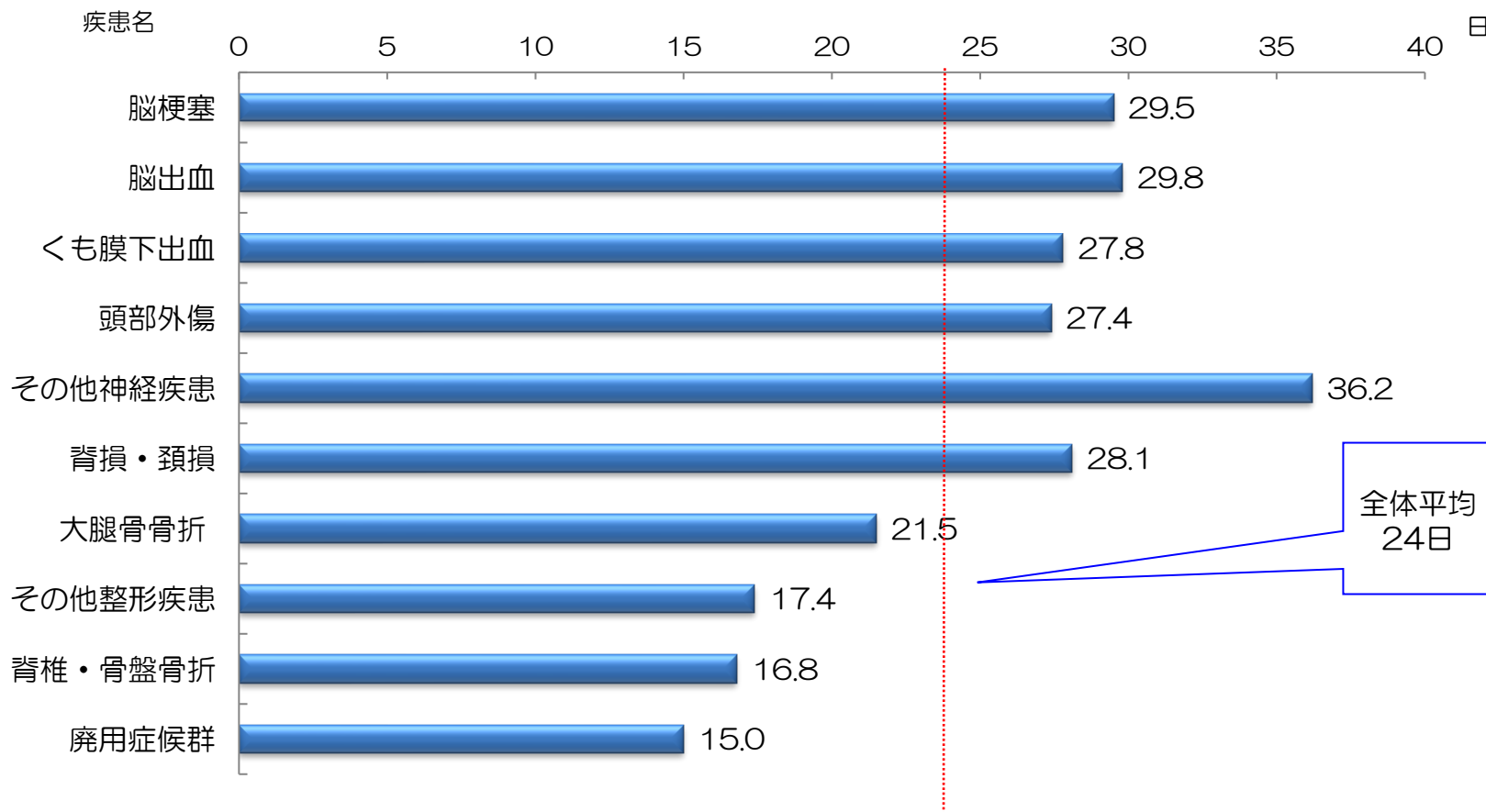
6.疾患別平均在院日数

疾患別平均入院日数 (N=895)



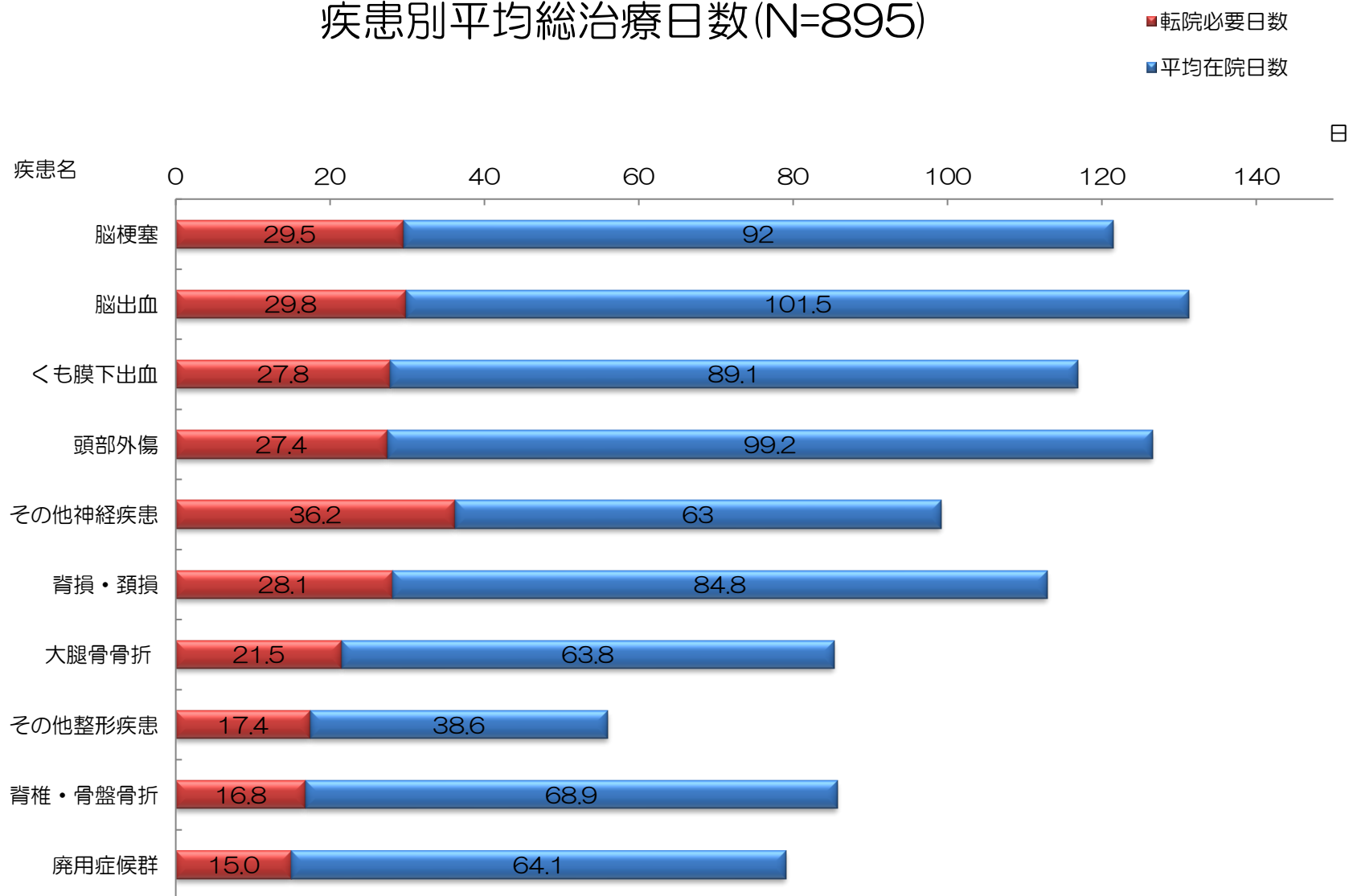
7. 転院必要日数

転院必要日数 (N=895)
(発症あるいは受傷から当院に入院するまでの日数)



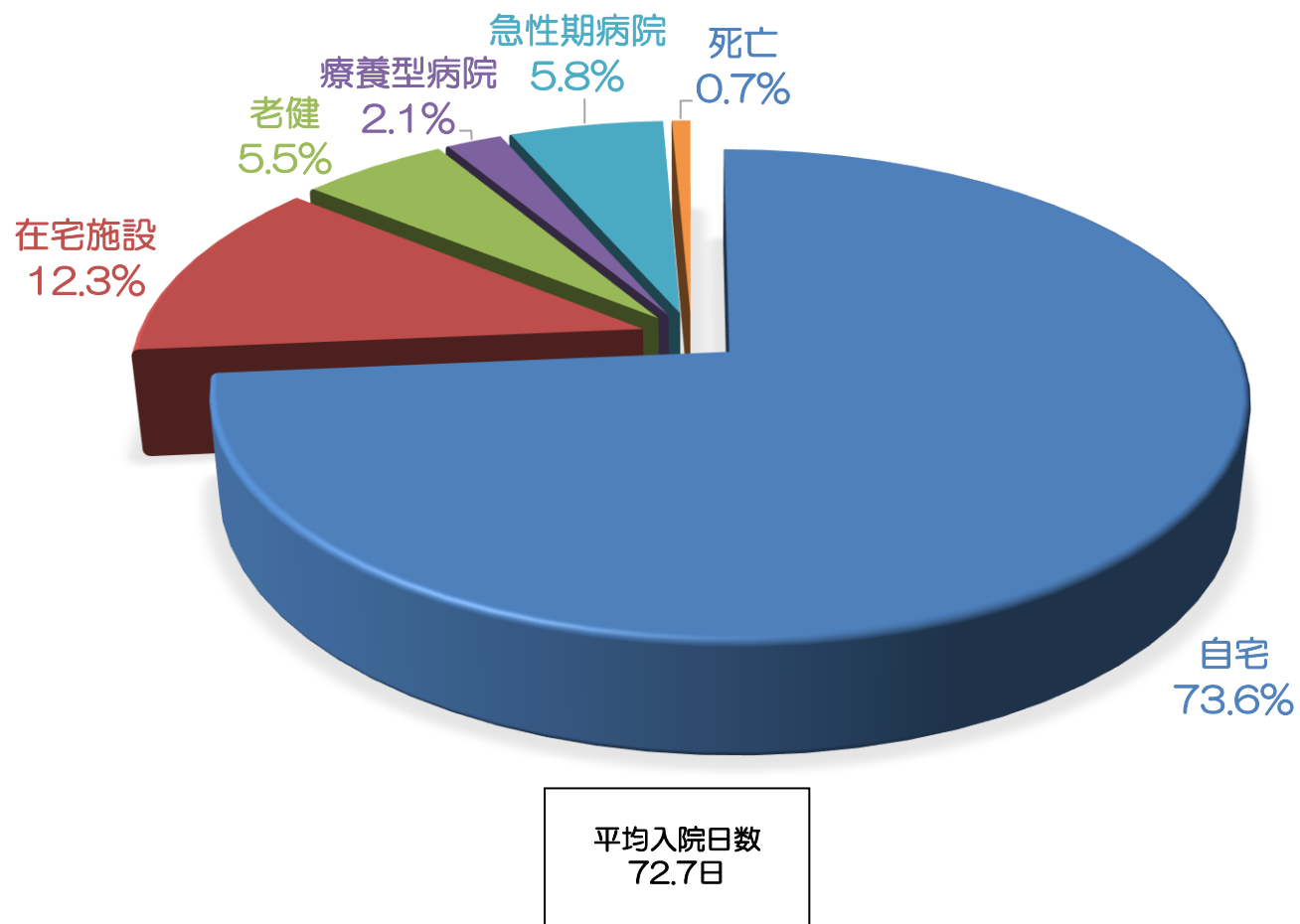
8.疾患別平均総治療日数

疾患別平均総治療日数(N=895)



9.最終退院先

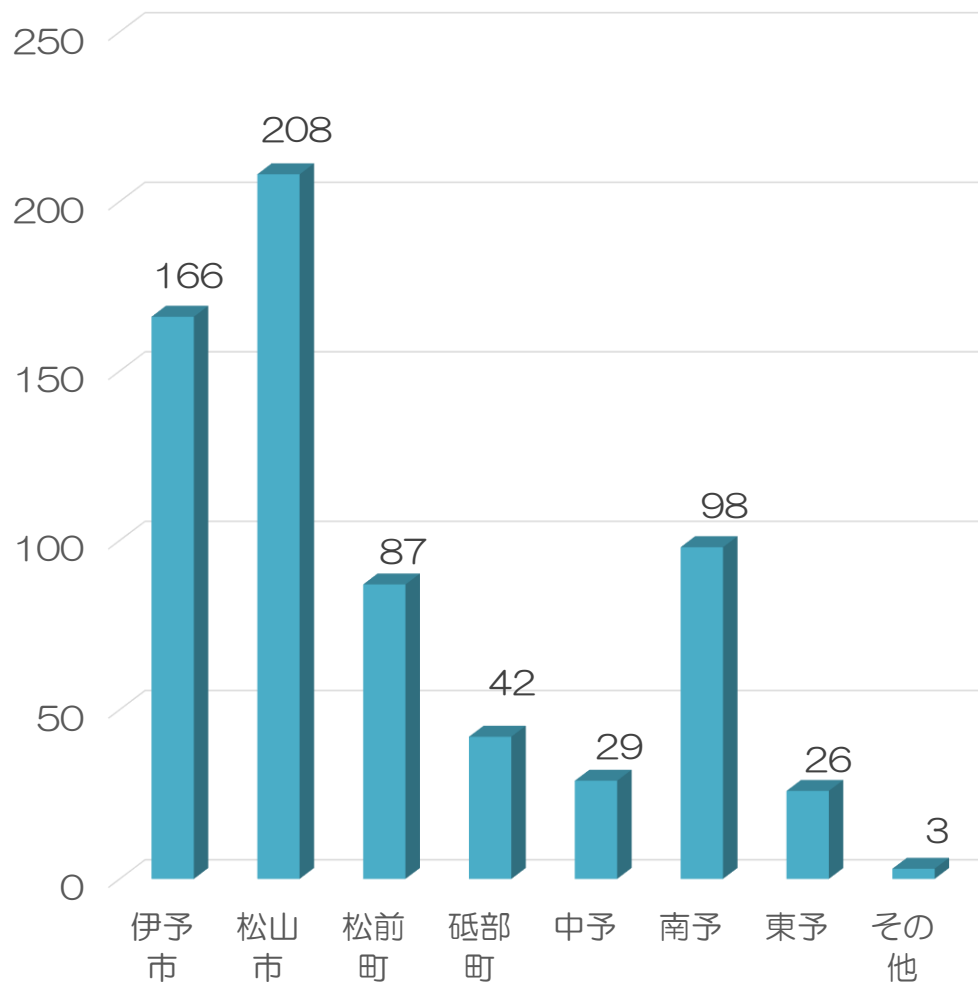
最終退院先 (N=895)



10.地域別自宅退院者数

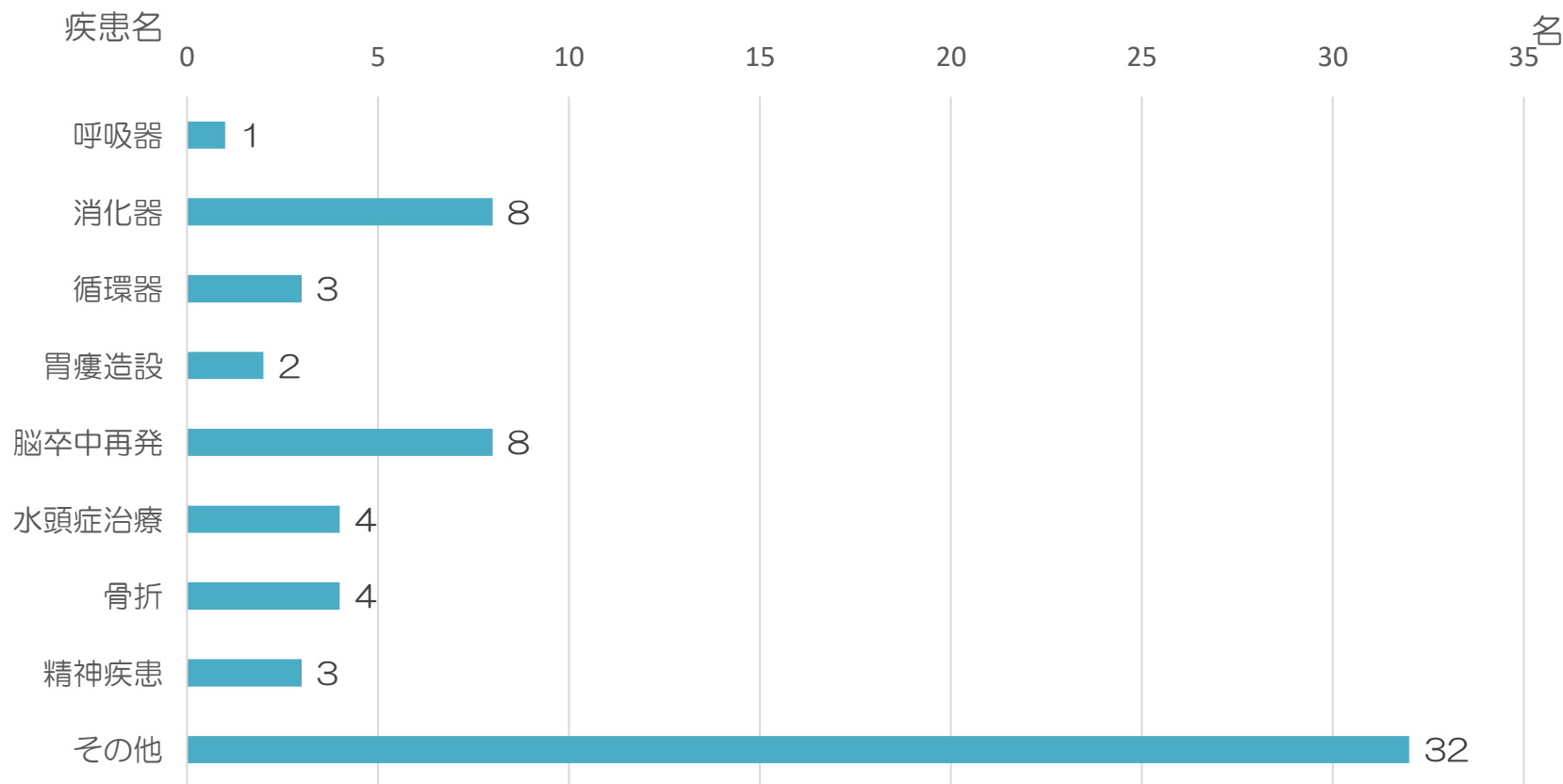
地域別自宅退院者数 (n=659)

人

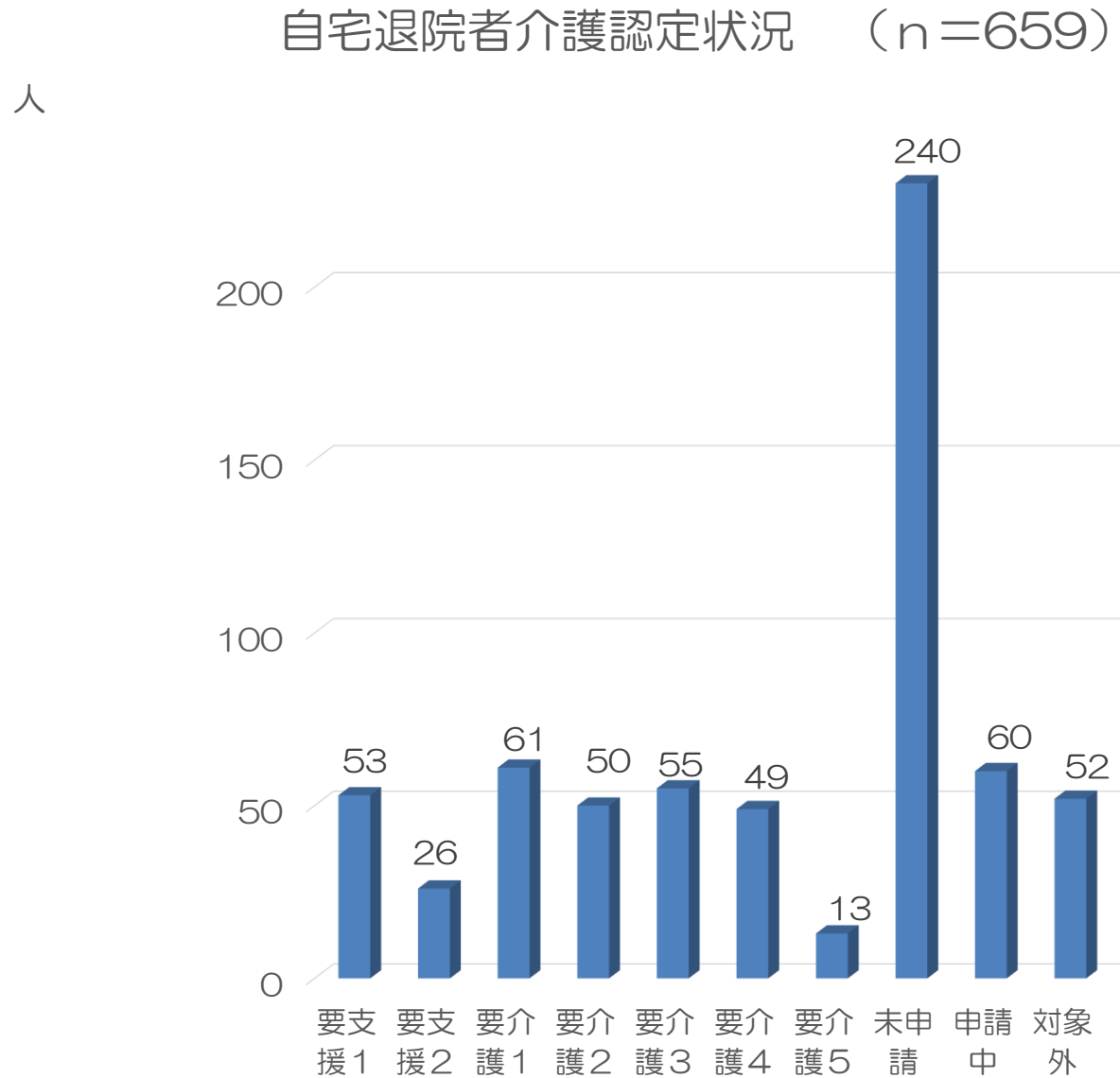


1 1.治療目的での転院理由

治療目的での転院理由 (n=52)

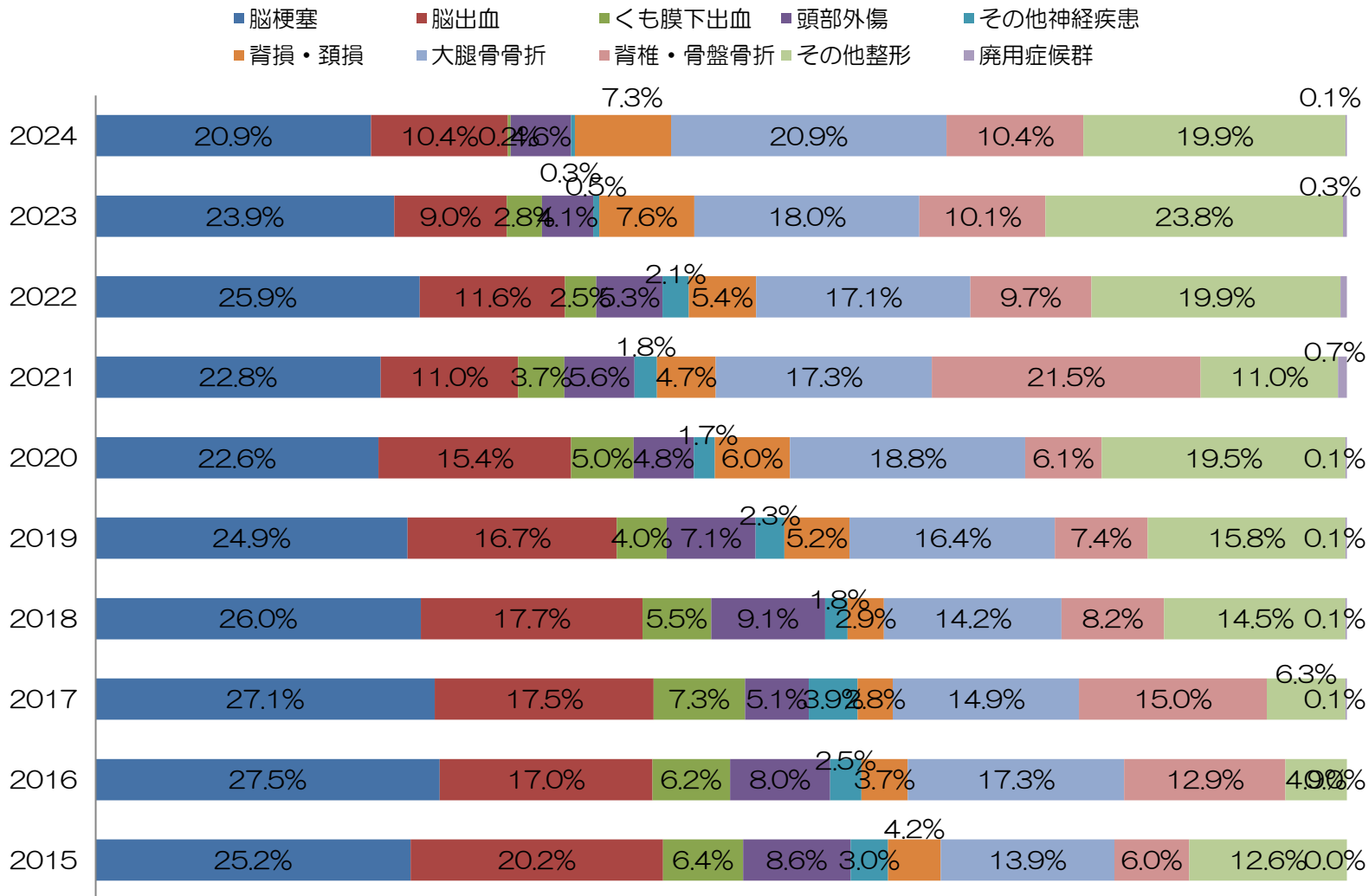


1 2.自宅退院者介護認定状況



1 3.疾患別患者割合・年度別

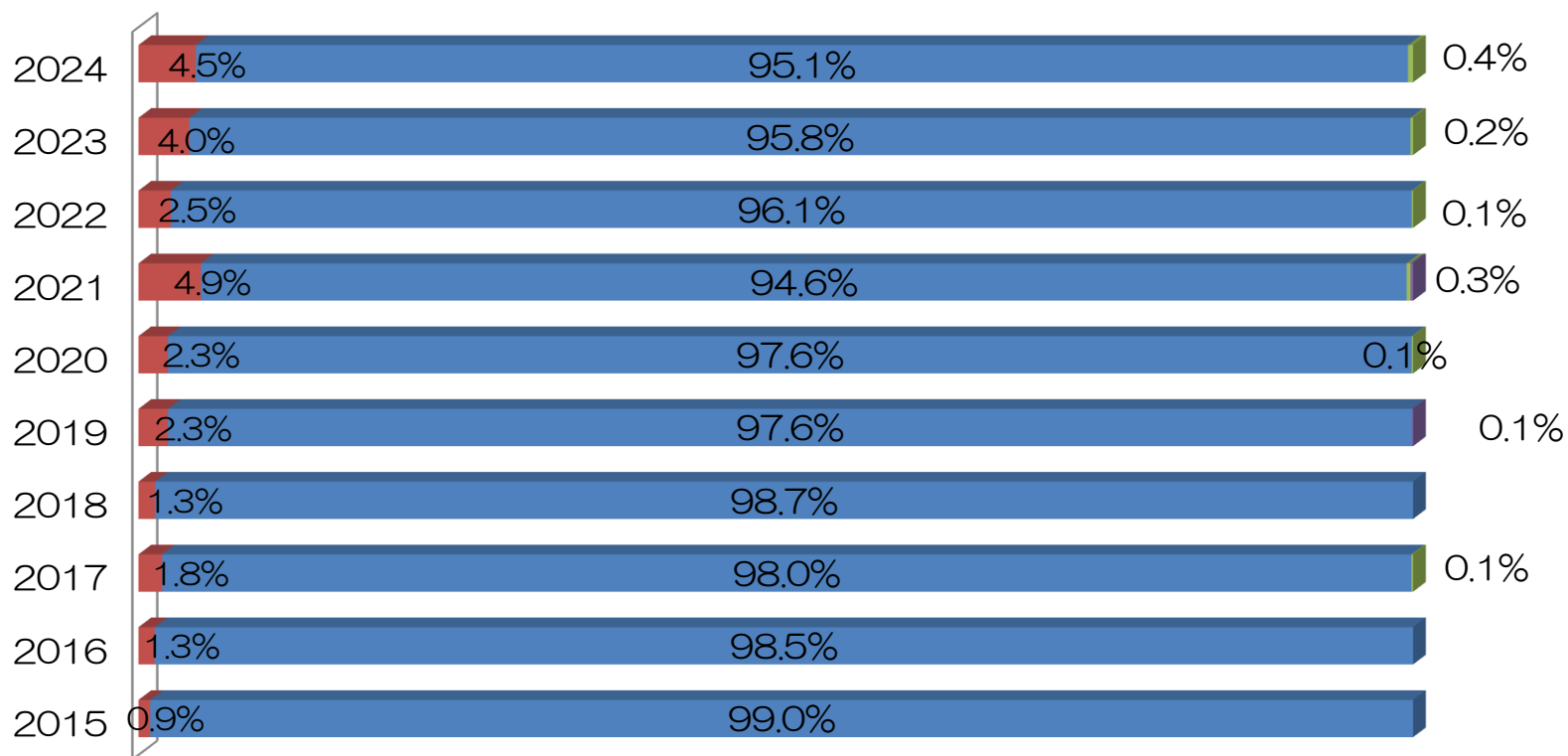
疾患別患者割合・年度別（2015年～2024年）



1 4.入院前状況年次推移

入院前状況年次推移(2015年～2024年)

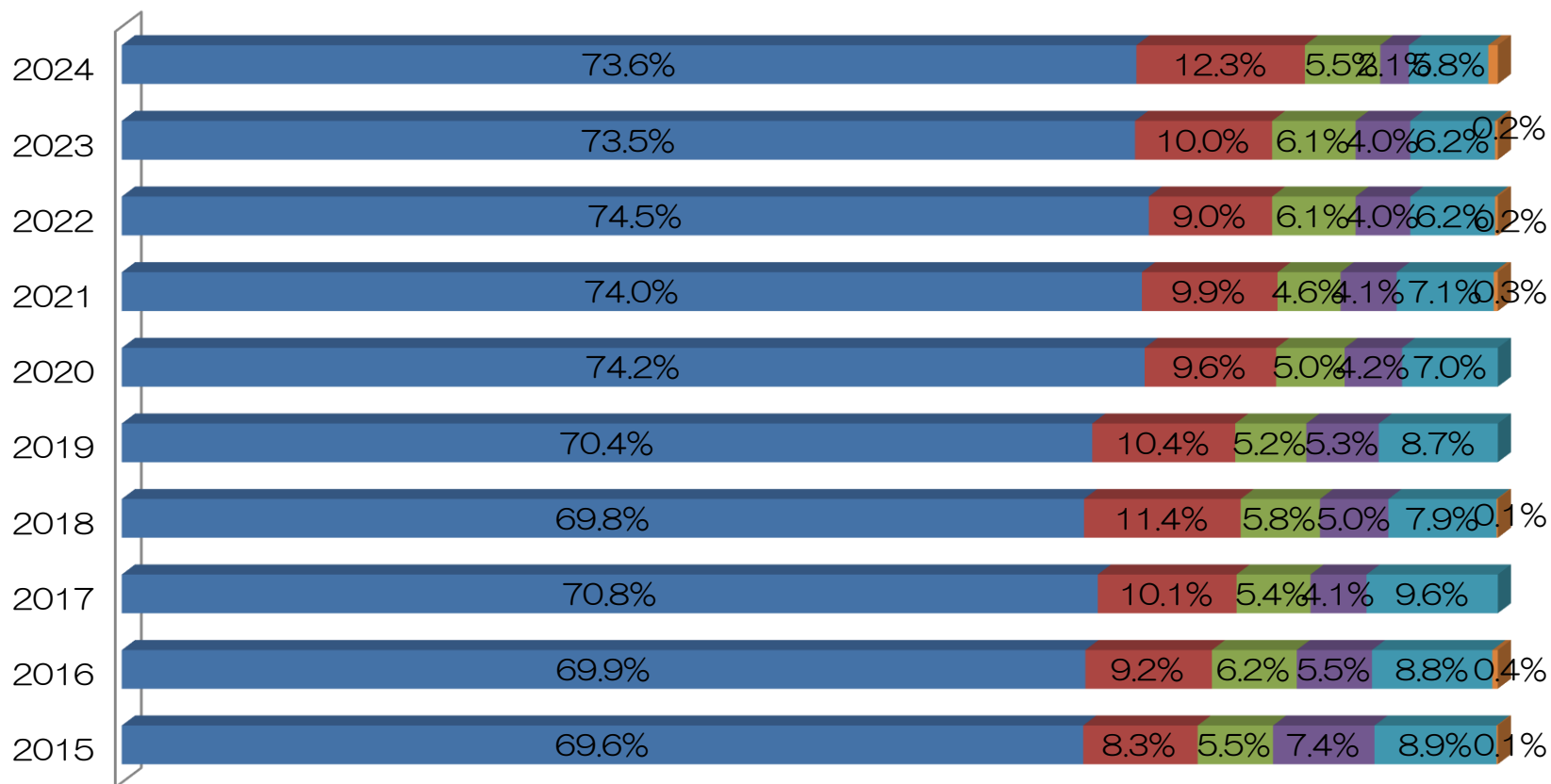
■ 自宅 ■ 病院 ■ 施設 ■ 併設老健



1 5.最終退院先・年度別

最終退院先・年度別（2015年～2024年）

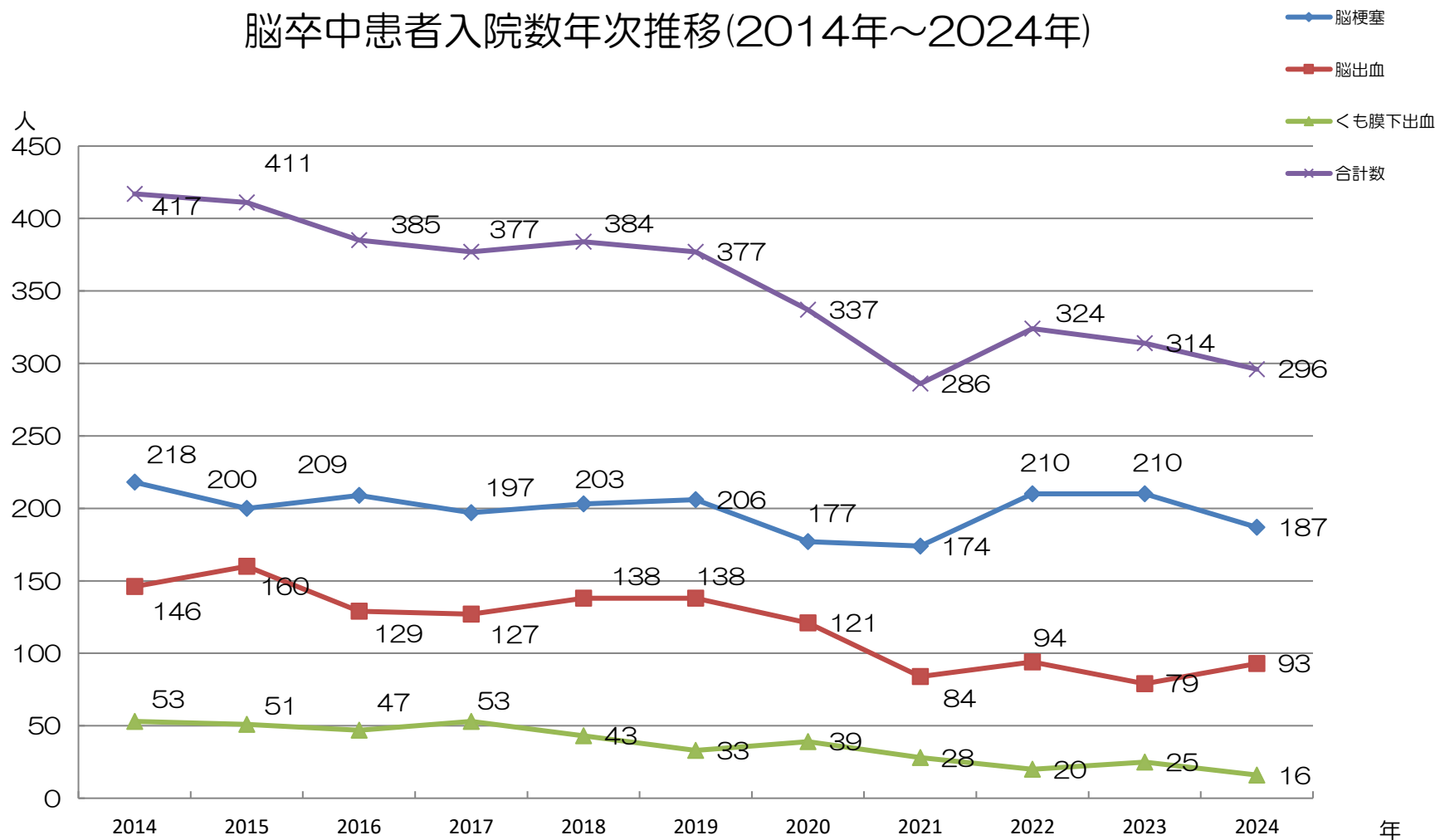
■ 自宅 ■ 在宅施設 ■ 老健 ■ 療養型病院 ■ 急性期病院 ■ 死亡



Ⅱ.回復期リハビリテーション病棟 入院患者疾患別状況

1.脳卒中患者入院数年次推移

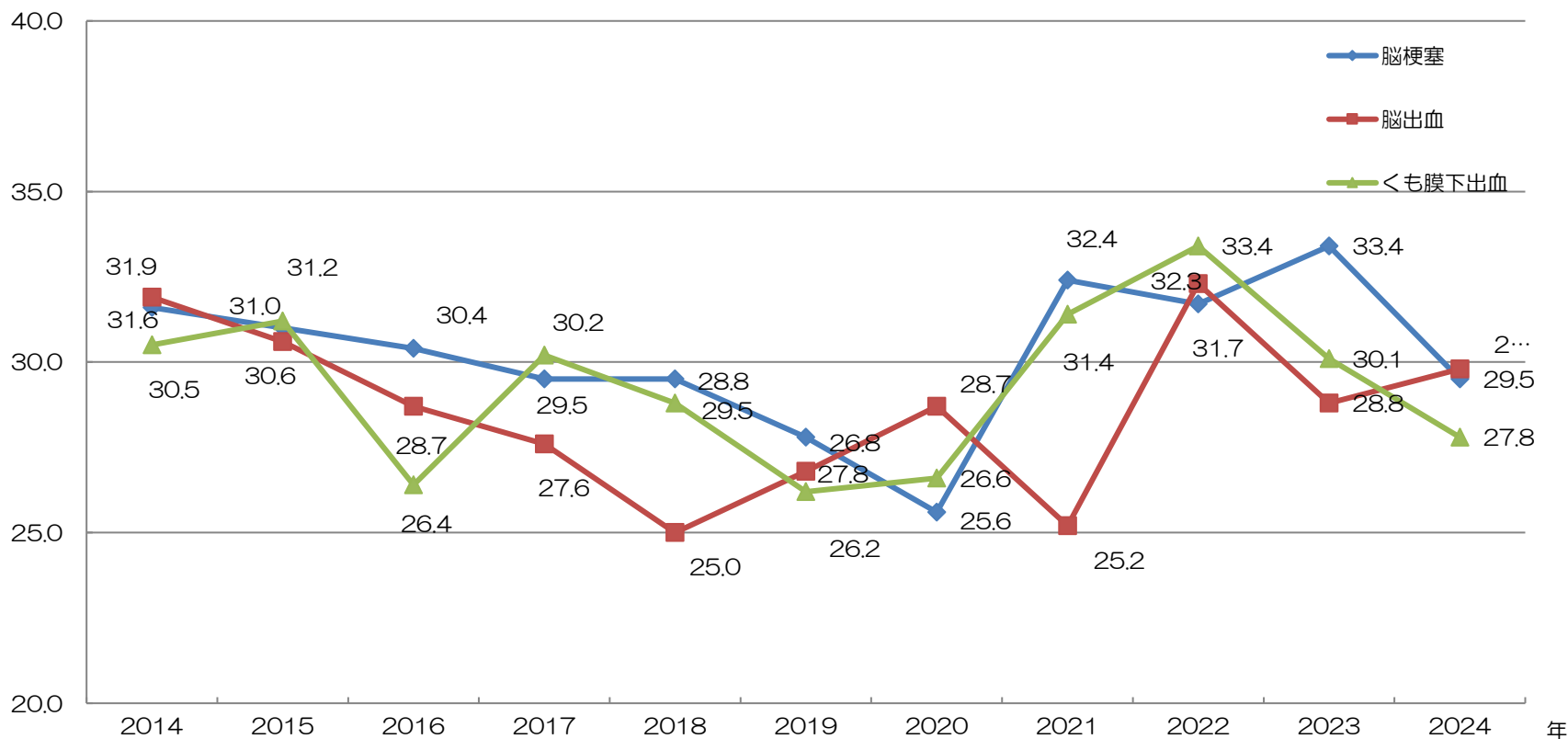
脳卒中患者入院数年次推移(2014年～2024年)



2.脳卒中転院必要日数年次推移

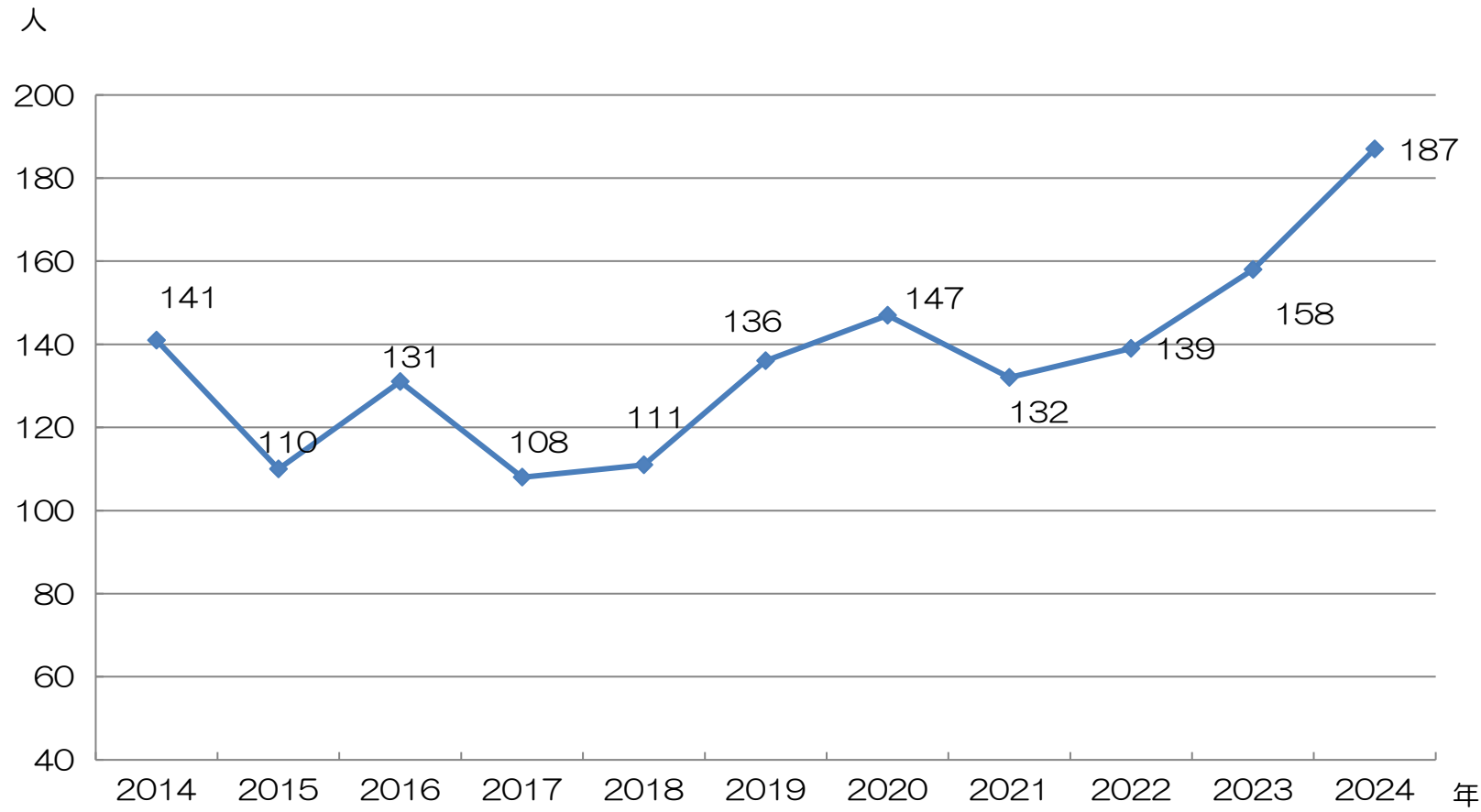
脳卒中転院必要日数年次推移（2014～2024年）

日
（発症あるいは受傷から当院へ転院するまでの日数）

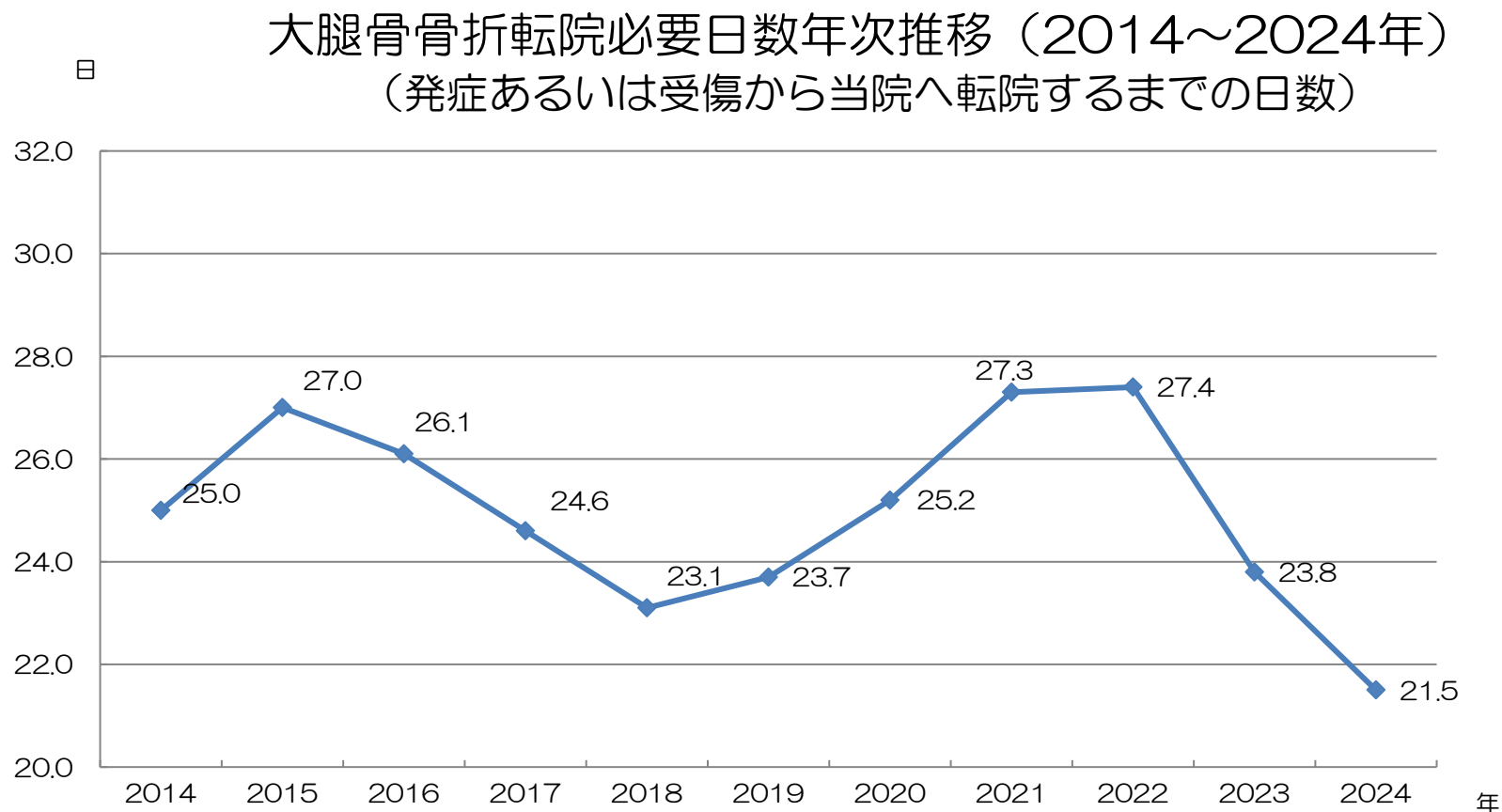


3.大腿骨骨折患者入院数年次推移

大腿骨骨折患者入院数年次推移（2014年～2024年）



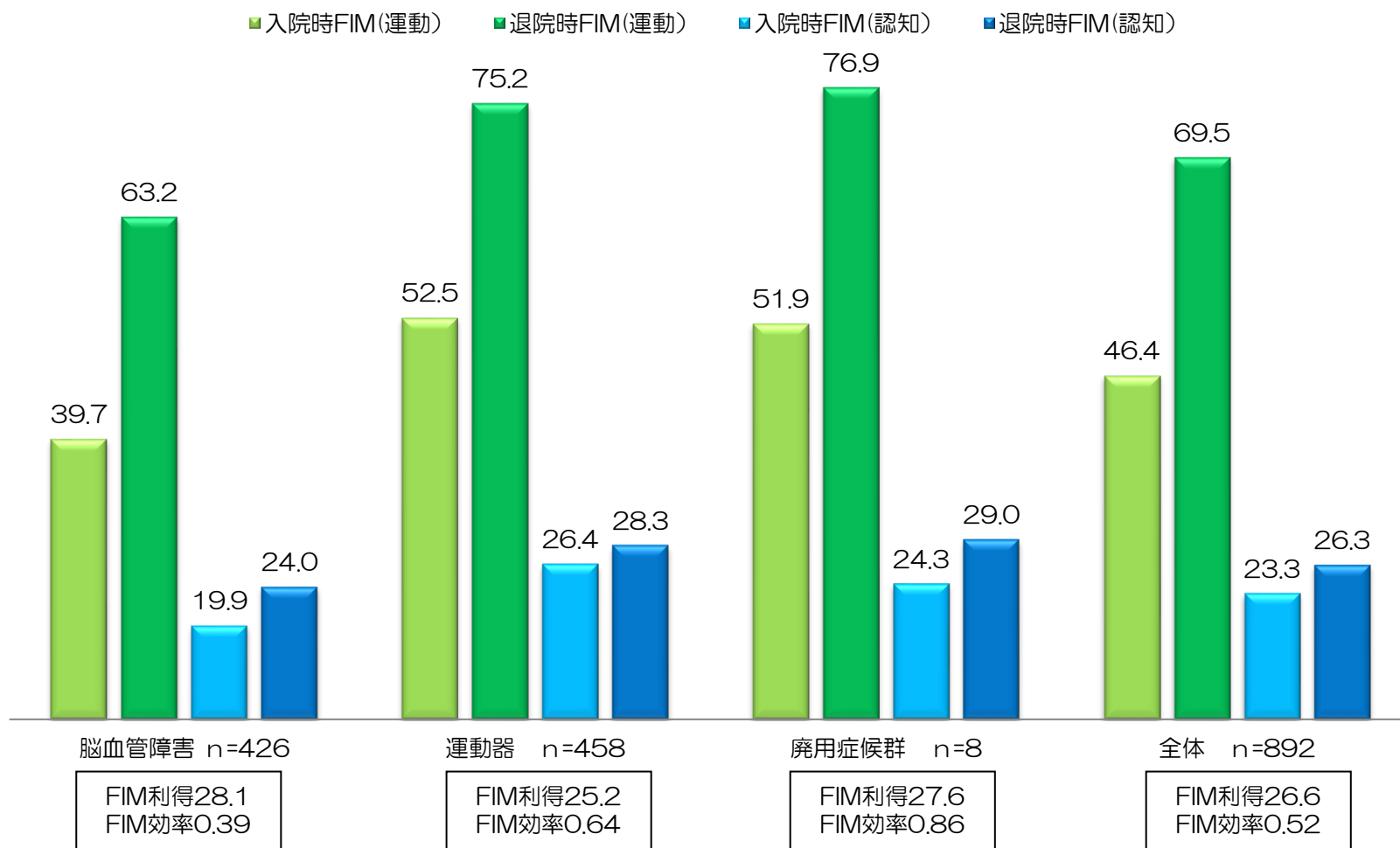
4.大腿骨骨折転院必要日数年次推移



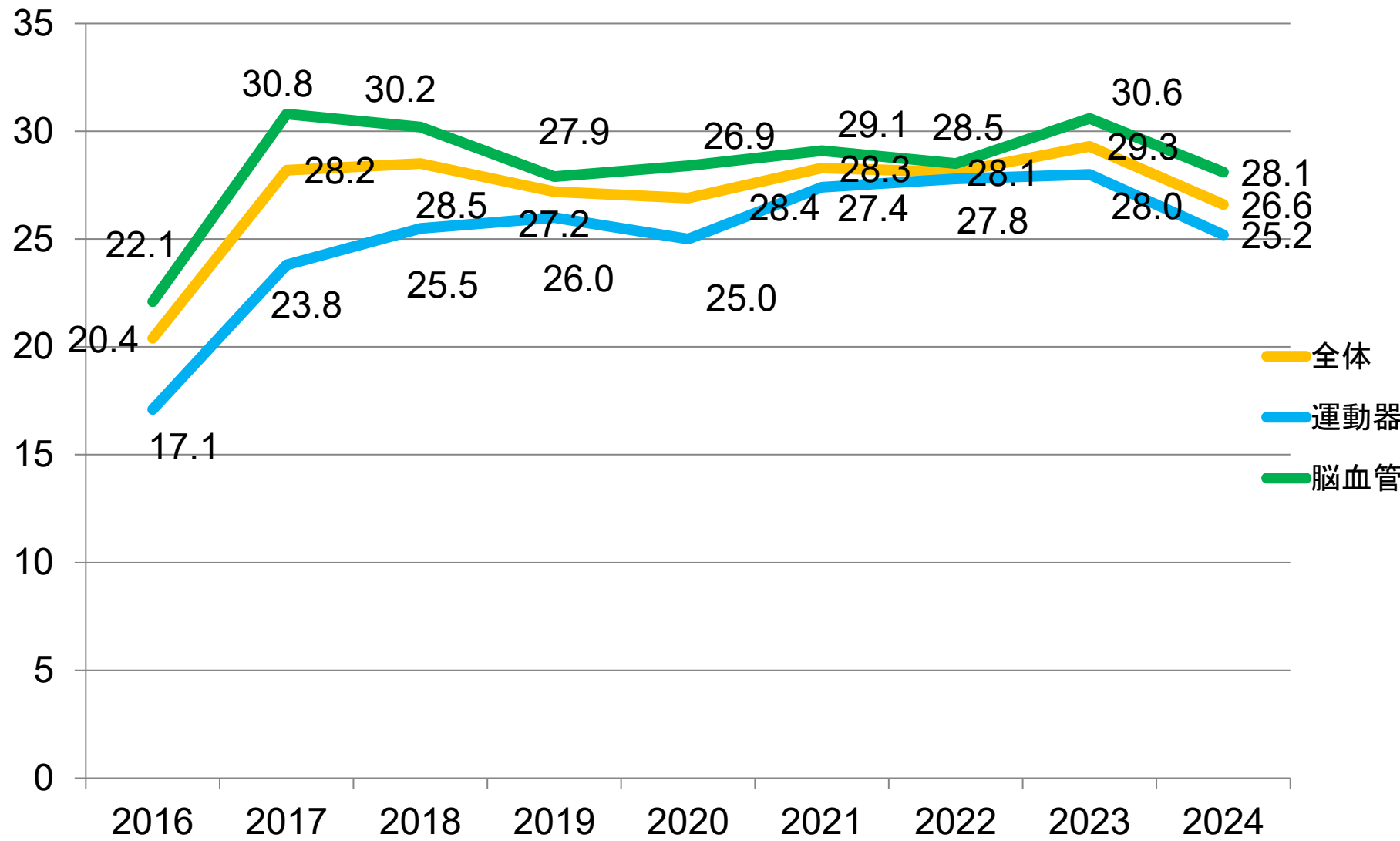
Ⅲ.FIM改善状況

1.疾患別FIM改善状況

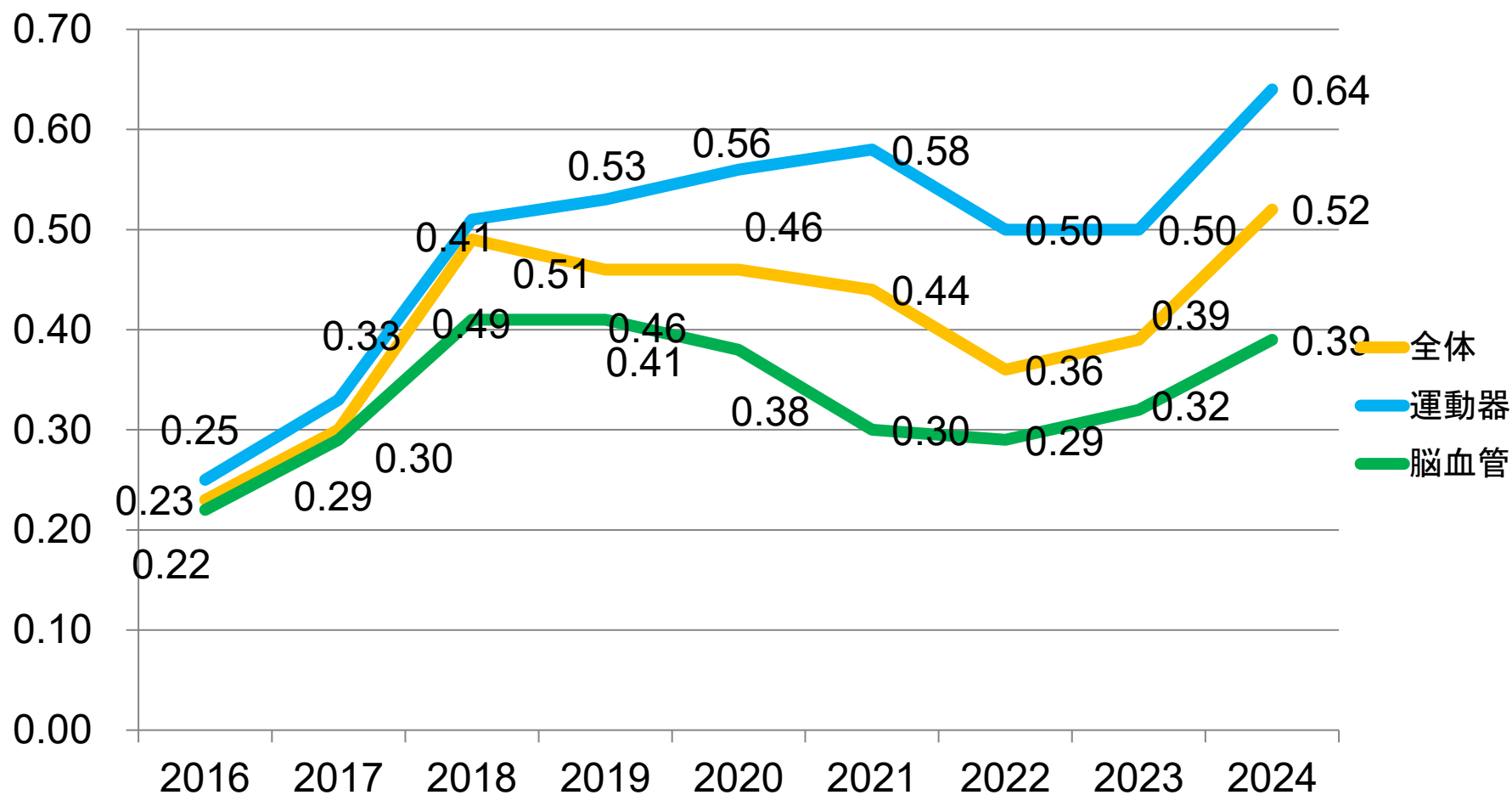
疾患別FIM改善状況



2.FIM利得経年経過



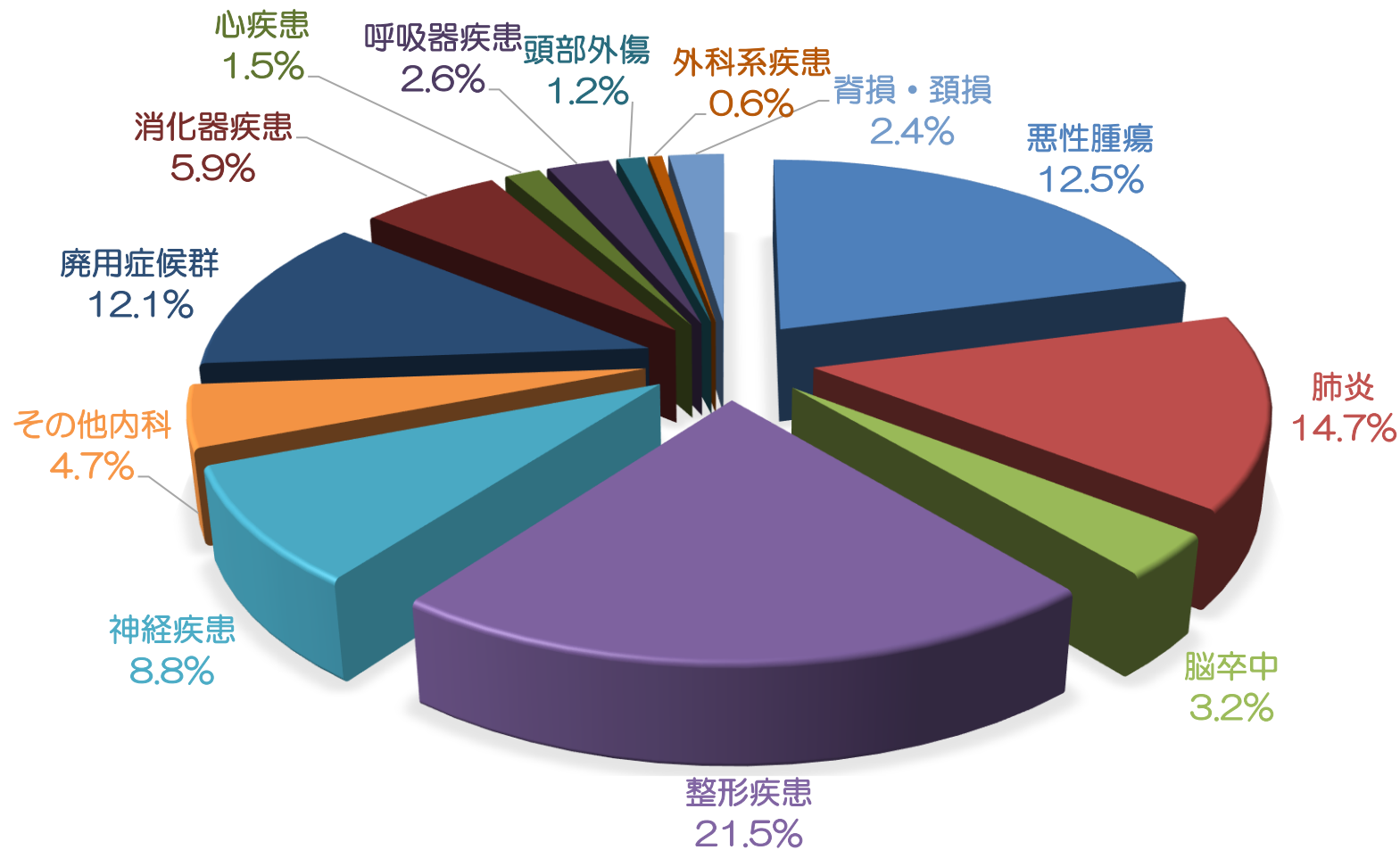
3.FIM効率経年経過



IV. 一般病棟（障害者施設等）入退院状況

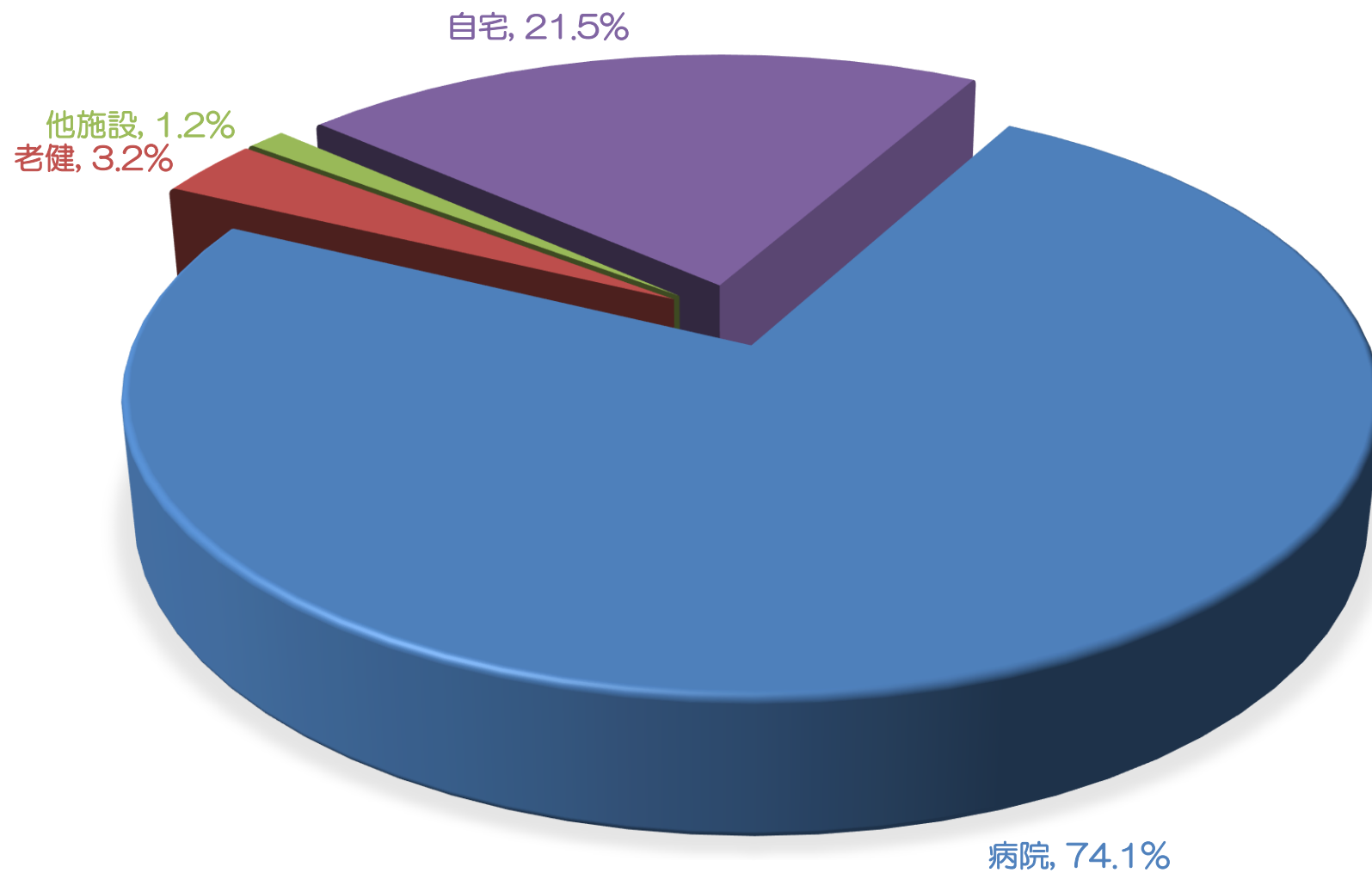
1. 疾患別患者割合

疾患別割合 (N=340)



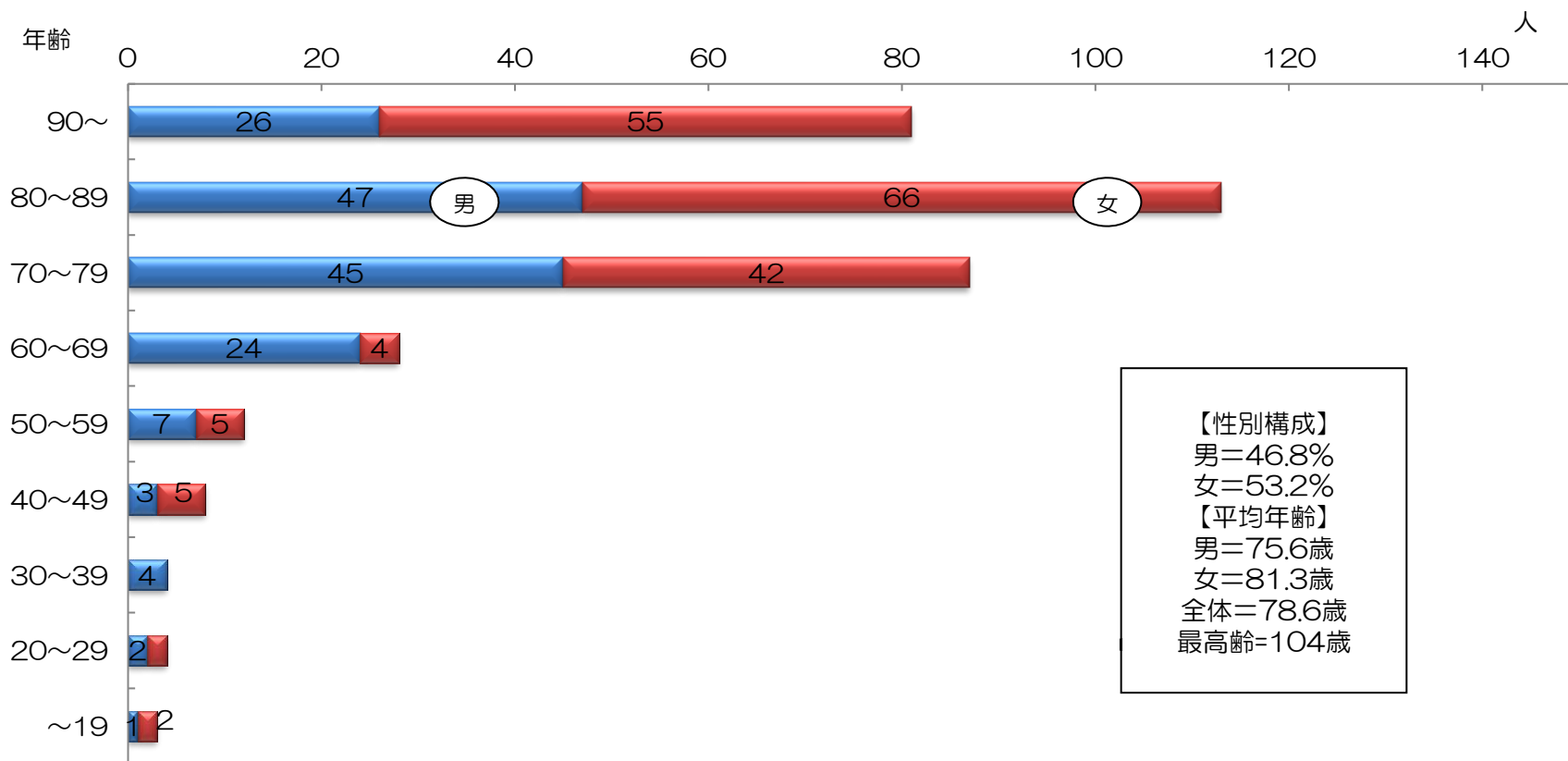
2.入院前状況内訳

入院前状況 (N=340)



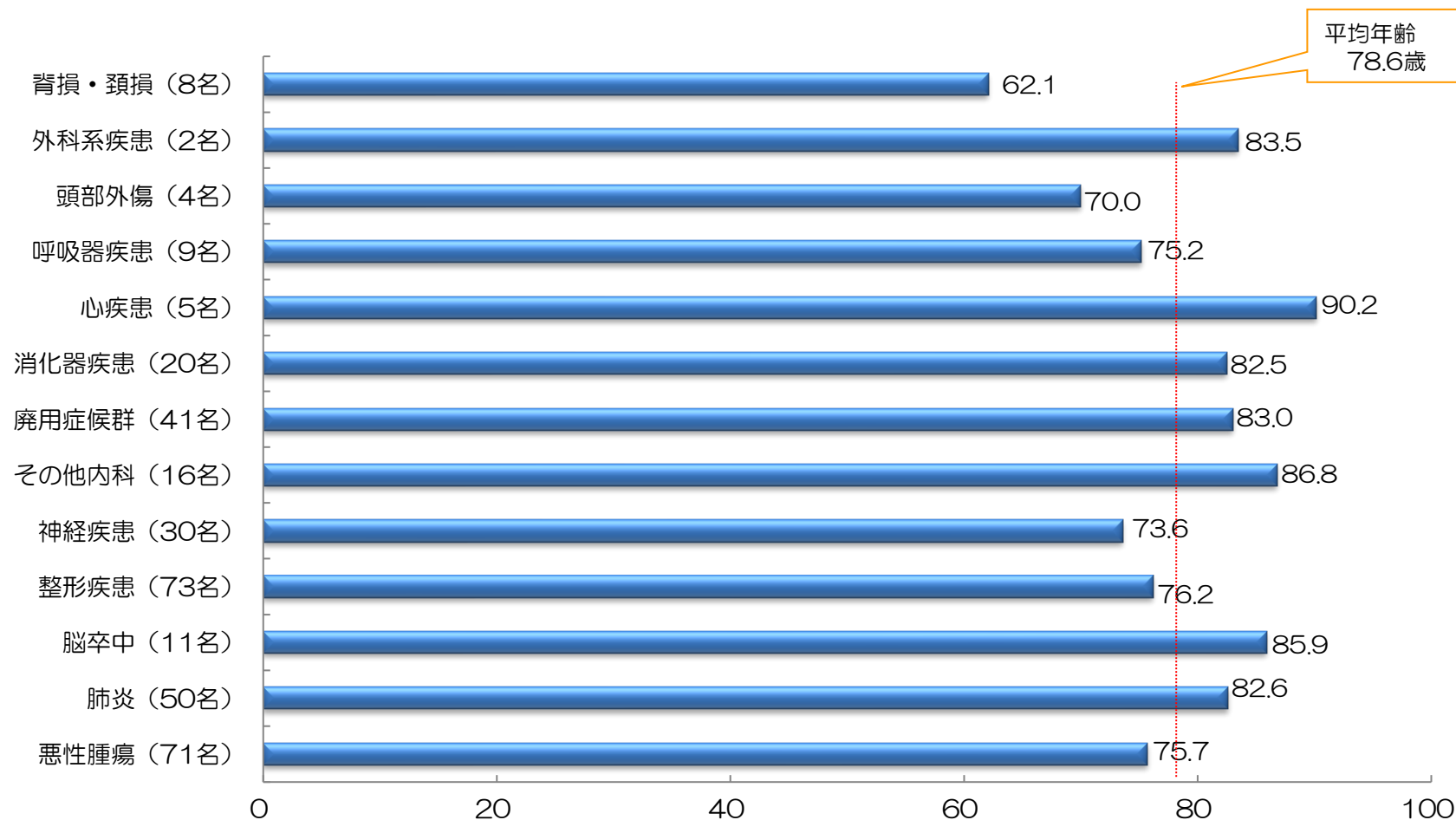
3.年齢構成

年齢構成 (N=340)



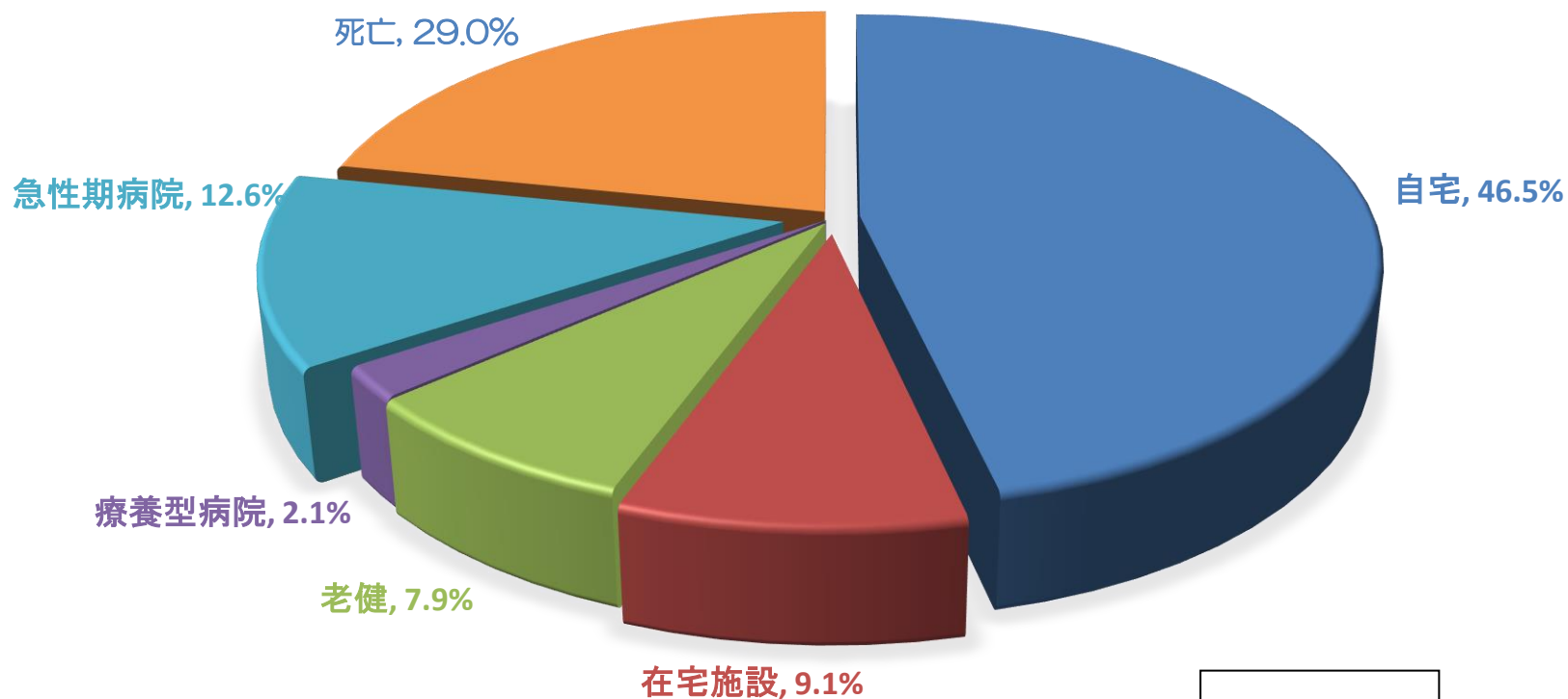
4.疾患別平均年齢

疾患別平均年齢 (N=340)



5.最終退院先

最終退院先 (N=340)



平均入院日数
69.5日

V. 研究実績

【医局】

<講演>

日時：令和6年6月27日

名称：第一三共研修会

場所：第一三共演題名：伊予病院のリハビリテーション

演者：藤田正明

日時：令和6年8月2日

名称：日本リハビリテーション病院施設協会 理事が語る

場所：WEB

演題名：地域における小児のリハビリテーション

演者：藤田正明

日時：令和6年9月27日

名称：ALL CHIBA-REHA研修

場所：WEB

演題名：臨床倫理の考え方 ～日常のもやもやを見逃さないために～

演者：藤田正明

日時：令和6年10月5日、10月6日、10月12日

名称：愛媛県災害時要配慮者支援チーム員養成基礎研修会

場所：WEB

演題名：災害時に活動を行う際の心構え

演者：藤田正明

日時：令和6年10月12日

名称：日本損害保険協会助成事業 リハビリテーション講習会

場所：テクノプラザ愛媛

演題名：神経発達障害と高次脳機能障害 ～似ている点、異なる点～

演者：藤田正明

日時：令和6年11月1日～3日
名称：第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
場所：岡山コンベンションセンター
演題名：歩行回復を認めた視床出血患者のCT所見での特徴
演者：岡島幹篤

日時：令和6年11月30日
名称：回復期リハビリテーション病棟協会 PTOTSTリーダー研修会
場所：WEB
演題名：リハビリテーション部門におけるリーダーへの期待
演者：藤田正明

日時：令和6年12月11日
名称：伊予医師会 学術講演会
場所：ウェルピア伊予
演題名：地域に根ざした小児リハビリテーション
演者：藤田正明

<講義>

日時：令和6年6月21、28日、7月5日、12日
名称：愛媛県立医療技術大学講義
場所：愛媛県立医療技術大学
講義名：「リハビリテーション医療」
その他：協力 押岡大助 看護師長、升田勝喜 先生

<地域活動>

日時：令和7年2月14日
名称：障害児・者の診療相談
場所：宇和島あけぼの園

【リハビリテーション部】

令和6年8月25日

徳永明大

第24回愛媛県作業療法学会

場所：松前総合文化センター

多職種チームアプローチにおける自立チェック表活用の一例

令和6年9月14日～15日

山上朋美

第12回日本運動器理学療法学会

場所：パシフィコ横浜

右脛骨高原骨折、右足関節後果骨折により背屈制限を呈した症例

令和6年9月28日～29日

杉村雅人

第22回日本神経理学療法学会

場所：福岡国際会議場

脳卒中片麻痺者の非麻痺側からの歩きはじめと麻痺側からの歩き始めに関する分析

令和6年9月28日～29日

木原幸太

第22回日本神経理学療法学会

場所：福岡国際会議場

当院における上肢の機能回復を認めた視床出血患者のCT所見での特徴

令和6年12月12日

奥本充

第2回セラピストマネジメント研究会

場所：WEB

当院退院時アンケート4年間の分析結果

～遭遇・業務・設備に対する満足度の差異と施策～

令和7年2月15日

澤山凜

令和6年度愛媛県言語聴覚士会

場所：愛媛大学医学部40周年記念講堂

橋梗塞により重度嚥下障害および構音障害を呈した症例について

令和7年2月21日～22日

門田紘

回復期リハビリテーション協会 第45回研究大会 in 札幌

場所：札幌コンベンションセンター

当院における自立後の転倒事例に対する身体機能面の分析

～Berg Balance Scale 小項目の分析～

【看護介護部】

令和6年6月25日

田中七帆

第33回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

場所：海峡メッセ下関

回復期リハビリテーション病棟における排尿ケア回診の介入効果

令和6年7月20日

堀一世

回復期リハビリテーション病棟協会研修会

場所：WEB

身体拘束廃止に向けたチームの取り組み

〈執筆〉

池内一恵 5階 看護師

雑誌名：リハビリナース 2024年7月10日発行Vol.17 No.4

「看護師が行う「しているADL」から「できるADL」へのアプローチ ～自立チェック表を活用して～

請田直美 3階 看護師 入河毅 4階 看護師
雑誌名：リハビリナース 2024年11月10日発行Vol.17 No.6
CBAの活用について

山本那知 2階 看護師
雑誌名：回復期リハビリテーション病棟協会機関誌 2024年10月号
拘束時間を可視化し早期の解除を目指す CBAを活用し多職種で事例検討重ねる